

ProjectCenter

GNUstep の IDE を使ってみた。

... あれ使いにくいぞ、と思ったら、メニューパネルやコンボボックスなんかが X のウィンドウに対応しているためか、私の fvwm の設定だと、マウスカーソルが離れた瞬間にバックグラウンドになってしまい、隠れてしまう。

というわけで、fvwm で、GNUstep 使う人は、ClickToFocus にしましょう。

それがいやなら、IDE のすべてのウィンドウを、隙間なく並べると、使えるようになるかも ... いやうまくないな。

ついでに、なんとなく、チュートリアルを訳してみた

GNUstep development tools : a basic tutorials .

ちなみに、このチュートリアルどおりにやってみたのだが、

最後のビルドのところであついたので、プロジェクトのディレクトリで直接

```
% GNUSTEP_MAKEFILES=/usr/local/GNUstep/System/Library/Makefiles gmake -f GNUmakefile
% GNUSTEP_MAKEFILES=/usr/local/GNUstep/System/Library/Makefiles ?
gmake -f GNUmakefile install
```

として、

```
% openapp /GNUstep/Applications/Converter.app/
```

と起動してみた。

免許の更新

免許の更新にいった。場所は、近くの大きな市民ホール。

今回は、初回講習に引き続き二度目。

酒気帯びやら携帯電話やら、いろいろと改正されていることについて説明をきいたり。

あとは、ビデオ上映。タイトルは、

「飲酒運転 ~ 破滅への道 ~」

今回のドラマは、飲酒運転をした側の視点で描かれていた。

飲酒によって小さな子供を死なせてしまう主人公は、有罪判決で服役。

妻は、被害者の家族から罵倒され、子供はグレ、そして、

そんな生活に疲れた妻は自殺 ...

もちろん、子供を失った悲しみに、辛く悲しい気持ちを感じ、

飲酒運転はだめだなあという気持ちになるのだが、

それ以上に、主人公に自分を重ね合わせてしまうことで辛くなってしまう。

自分かわいさ、というところだろうか。

いづれにしても安全運転で、自分も、そして他人も不幸にならずにすむ

ということですね。